

明電グループ 環境報告書

2 0 0 1

(2000年度実績)



会社概要

社 名 株式会社 明電舎
 本社所在地 東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
 電話(03)5641-7000(代)
 代表者 取締役社長 瀬古 茂男
 創 立 1897年(明治30年)
 事業内容 電気機械器具の製造並びに販売
 資本金 170.7億円(2001年3月31日現在)
 売上高 1,464億円(2000年度)
 従業員数 3,851名(2001年3月31日現在)

環境報告書の対象範囲

この報告書は、明電舎及び関係会社の2000年度における環境保全活動についての報告書です。記載した環境負荷データは、沼津事業所、太田事業所、名古屋事業所、東京事業所の社内4事業所と工事事業部及び関係会社22社中12社を対象にそれぞれ集計しま

対象関連会社

明電エンジニアリング(株)、明電機電工業(株)、明電ケミカル(株)、(株)甲府明電舎、明電シスコ(株)、明電ソフトウェア(株)、明電鋳工(株)、明電メディアフロント(株)、明電板金塗装(株)、北斗電工(株)、(株)新興製作所、明電興産(株)

1 明電舎における環境への取り組み

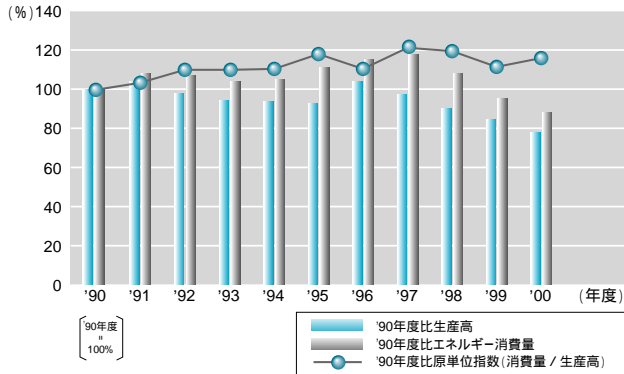
2000年度環境自主行動計画の取り組みと実績

内容	目標	取り組み実績
ゼロエミッションへの挑戦 (廃棄物再資源化) 「焼却及び埋立処分をゼロにするためのリサイクル推進」	廃棄物再資源化率目標 2000年度:82% 2002年度までに特別管理産業廃棄物を除く廃棄物ゼロ 2005年度までに全ての廃棄物ゼロ	2000年度廃棄物リサイクル率77% 紙木材についてリサイクルを進めた結果、前年より紙木材のリサイクル量は倍増した。
環境ISO14001認証取得	2000年度:工事事業部及び明電プラント(株)の取得 取得実績:沼津事業所:1998年2月 太田事業所:1999年3月 名古屋事業所:2000年2月	2000年12月 工事事業部取得 2001年 2月 明電プラント(株)取得
地球温暖化防止対策 (省エネ、CO ₂ 削減対策)	2002年度までにCO ₂ 原単位を1990年度比5%削減 2010年度(最終目標年度)までにCO ₂ 原単位を1990年度比25%削減 2005年度までにSF ₆ の排出量を購入量の3%以下	省エネ機器導入によりCO ₂ 排出量2%改善したが、生産の減少により1999年度比原単位指数10%増加、1990年度比では101% 2000年度排出率14%
製品開発 「製品・技術に関する環境への配慮」	2000年度:製品の環境対策基準の制定	グリーン製品設計ガイドラインの策定
スタッフ部門の活動	グリーン購入の推進 2002年度までに事務用品グリーン度100% 情報公開 2000年度:環境報告書の発行およびHPでの情報公開 環境教育 2000年度:環境基礎教育実施	2001年2月より一部事業所にてグリーン購入開始 2000年 9月 環境報告書発行 2000年12月 ホームページに掲載 本社、東京事業所、国内7支社支店で教育実施

地球温暖化対策

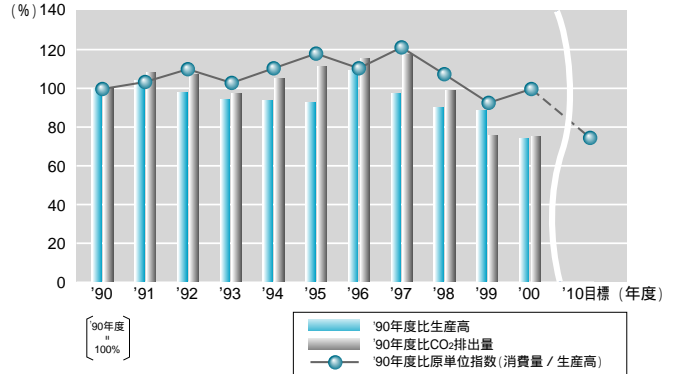
エネルギー使用量、CO₂排出量共に省エネ機器導入の効果もあって前年度より微量ながら減少していますが、生産が減った

エネルギー原単位推移



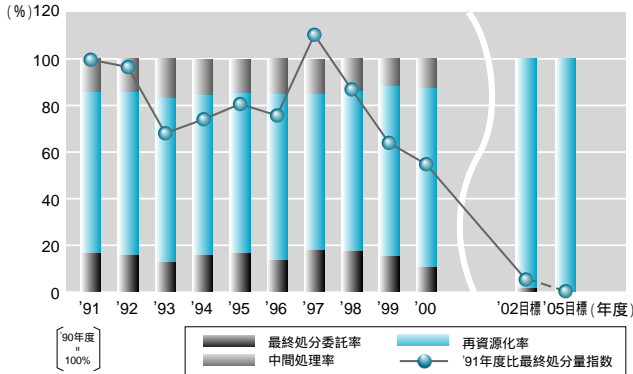
ことにより原単位指数は10ポイント程度増加しました。

CO₂排出原単位推移



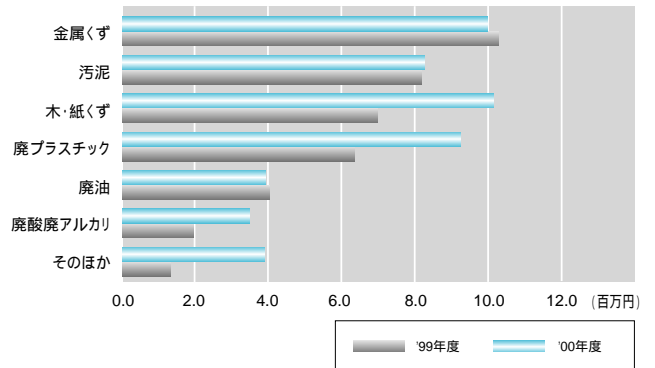
廃棄物減量化対策

廃棄物排出の推移



前年度に比べて、社内焼却を廃止した事業所からの紙・木くずの排出が増え、総排出で約25%増加しましたが、汚泥、紙・木くずの積極的なリサイクル活動により、1991年度と比較した最終処分量を55%に下げることができました。

廃棄物処理費用



紙・木くずの社外焼却処理や、リサイクル処理が増加したため前年度に比較し、紙・木くずの処理費用が増加しました。また、プラスチックシート類の一部を埋め立て処分からリサイクル処理に変えたため、前年度に比べ廃プラの費用が増加しました。

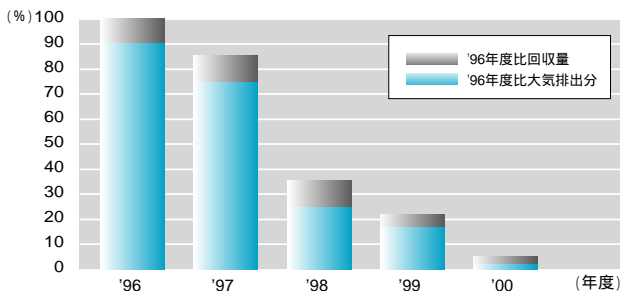
ダイオキシン対策

当社では、沼津、太田、名古屋の3事業所で焼却施設が稼働していましたが、2002年12月の排出基準強化に備え、太田事業所は2000年11月、名古屋事業所は2001年1月に社内焼却を停止し、

外部委託処理に切り替えました。沼津事業所については、2001年4月より、ダイオキシン発生の非常に少ない当社製の乾留形焼却炉による処理を開始しております。

有害化学物質の排出削減

有害大気汚染物質(ジクロロメタン)の削減



ジクロロメタンについては代替物質への切り替えが積極的に行われ、2000年12月に全廃することができました。

化学物質の管理活動 (PRTR)

現在、PRTR法の施行により、各事業所で活動を展開中ですが、沼津、太田、名古屋の事業所で、前年度に引き続きPRTR調査

表を作成しました。今後も管理体制の充実を図るべく、活動を推進していきます。

2000年度PRTR調査

[単位: t/年]

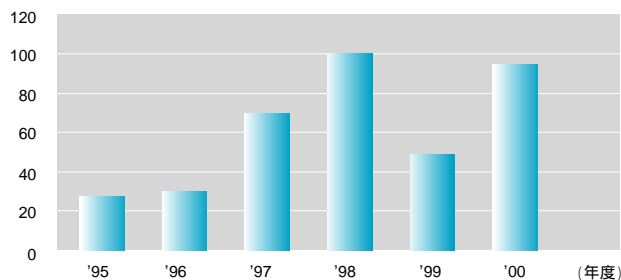
化学物質名	取扱量	大気水・土壌へ排出	消費量 (製品へ)	除去処理量	廃棄物移動量	リサイクル量	管理型埋立
キシレン	18.48	12.56	0.07	4.89	0.96	0.00	0.00
トルエン	14.36	6.92	0.00	7.15	0.29	0.00	0.00
酢酸2-エトキシエチル	3.26	3.18	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00
スチレンモノマー	23.10	1.20	20.80	0.00	1.10	0.00	0.00

(大気・水・土壌へ排出した物質を主に記載)

環境保全投資

環境保全投資推移

(百万円)



1997年度から、省エネ機器の導入が積極的に行われています。特に照明機器やファン・ポンプのインバータ化を主に行いました。また、省エネに有効なエネルギー監視システムの導入も行いました。

グリーン購入

事務用消耗品のグリーン購入活動は、総務部門を中心に活動しています。コピー用紙については全社でグリーン商品への切り替えを行っています。沼津事業所では、グリーン商品を優先して

購入できるよう購入システムの商品リストを見直し、ISO活動項目にグリーン購入率を取り上げ、毎月のトレースを行っています。

環境会計

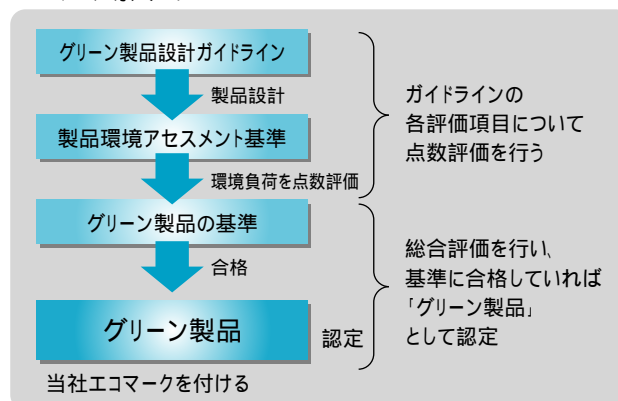
環境会計を行う目的として、内部・外部環境コストの管理、環境問題取り組みの社外アピール、投資家からの信頼獲得があげられますが、内部コストに範囲を限定して環境コストの集計を行う準備をしています。環境会計実施のスケジュールについては、当面は明電舎単独の範囲に限定して2001年度より実績把握を開

始し、2002年度発行の「環境報告書」から記載を開始します。開示するコストには、公害防止コスト、省エネルギーコスト、産業廃棄物削減・リサイクルコスト、環境修復コスト、環境管理活動コスト、社会活動コスト、研究開発活動コストの内容を盛り込みます。

製品の環境影響評価

当社では、2000年度より当社の製品環境基準を設け、製品にグリーンマーク制度を導入する活動を進めています。グリーン製品設計ガイドラインに基づいて製品設計を行い、製品環境アセスメント基準に従った点数評価の結果、基準に合格すれば「グリーン製品」として認定し、当社エコマークを付ける予定です。

エコマーク導入のフロー

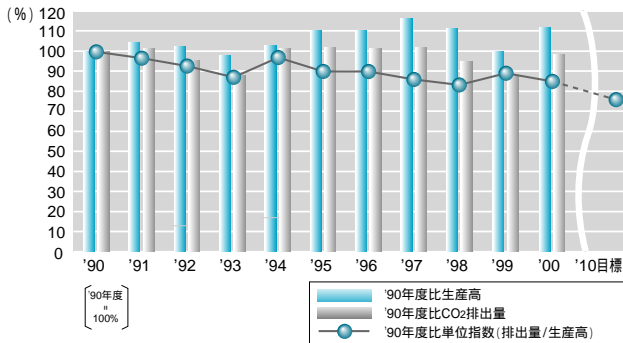


2 関係会社における環境への取り組み

関係会社における環境保全活動

(1) 関係会社のCO₂排出削減

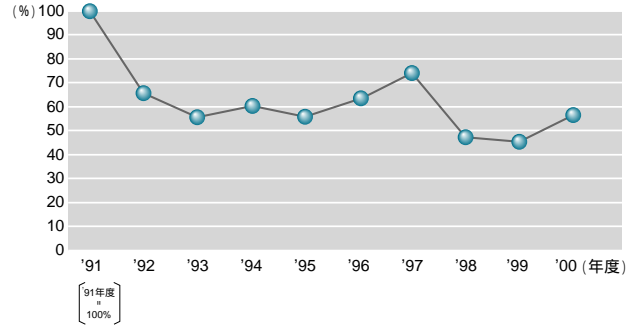
関係会社CO₂排出原単価推移



2000年度は、生産増による電気エネルギーの使用量が前年度比で8%増加し、総CO₂排出量でみると9%増加しましたが、生産高が伸びたことにより、原単価指数は4ポイント改善することができました。

(2) 関係会社の廃棄物排出削減

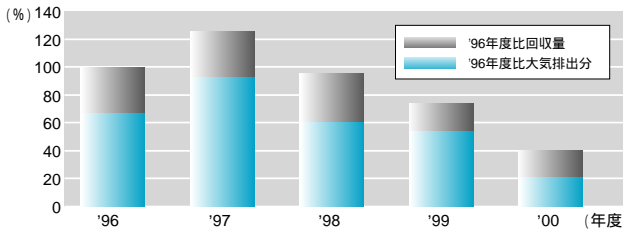
関係会社廃棄物排出推移 (各年度最終処分委託量 / 1991年度最終処分委託量)



生産増による汚泥の埋立処理が増えたため、前年度よりも10ポイント増加しました。

(3) 関係会社の化学物質排出削減

有害大気汚染物質(ジクロロメタン)の削減



ジクロロメタンの取り扱い量は、毎年減少傾向にあり、1996年度比で40%まで減少し、大気への排出量も1996年比で3分の1以下にまで削減しました。今後全廃に向けて明電舎における全廃のノウハウを関連会社に展開していきます。

(4) 化学物質の管理活動(PRTR)

関係会社2000年度PRTR調査

[単位: t/年]

化学物質名	取扱量	大気水・土壌へ排出	消費量 (製品へ)	除去処理量	廃棄物移動量	リサイクル量	管理型埋立
キシレン類(混合体)	115.11	29.07	83.88	0.00	2.16	0.00	0.00
トルエン	55.06	14.37	39.42	0.00	1.27	0.00	0.00
2-(ジエチルアミノ)エタノール	13.55	13.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ジクロロメタン:二塩化メチル	15.93	9.10	0.00	0.00	2.20	4.63	0.00
スチレンモノマー	52.78	1.98	50.50	0.00	0.30	0.00	0.00
エチレンジクロロホルム/エチルエーテル	3.55	1.29	2.26	0.00	0.00	0.00	0.00
エチルベンゼン	42.99	1.09	41.00	0.00	0.90	0.00	0.00

株式会社 明電舎

電話 ファクシミリ

本社 〒103-8515 東京都中央区日本橋箱崎町36-2 (リバーサイドビル) (03)5641-7000 (03)5641-7001

北海道支店 (011)261-5531 関西支社 (06)6203-5261 東京事業所 (03)3492-1111
 東北支店 (022)227-3231 四国支店 (087)822-3437 太田事業所 (0276)32-1111
 北陸支店 (076)433-0445 中国支店 (082)221-4255 沼津事業所 (055)921-5111
 中部支社 (052)231-7181 九州支店 (092)771-7041 名古屋事業所 (052)509-1200

本報告書に関するお問い合わせは

環境管理部 (沼津事業所内) 〒410-8588 静岡県沼津市東間門字上中溝 515
 TEL (055) 929-5600 FAX (055) 929-5900
 URL <http://www.meidensha.co.jp>

この印刷物について
 用紙: エコマーク認定 古紙配合率100%再生紙使用
 インキ: エコマーク及びアメリカ大豆油協会認定
 アロマフリー型大豆油インキ使用
 表面加工: なし



*この印刷物は雑誌古紙として、古紙回収ルートで処理されれば再生可能です。

AA11-2877差 2001-10 ME 1L